

柏崎市 地域エネルギービジョン



～新たな
エネルギーのまち
柏崎3.0へ～



平成30年3月

柏崎市

新たなエネルギーのまち柏崎、 「2.5」、そして「3.0」へ



柏崎市長 櫻井雅浩

これまで柏崎市は、「石油産業のまち」(1.0)、「原子力産業のまち」(2.0)として発展し、我が国の産業の発展や首都圏の電力需要を支えるなど、国のエネルギー政策に大きく貢献してきました。

また、平成29年4月からスタートした「柏崎市第五次総合計画」において重点を置いた一つに「産業イノベーション戦略」があります。その主要施策の基本方向として「次世代エネルギーの活用による温暖化対策の推進」、「エネルギー・環境産業の創出」を据え、新たなエネルギーのまちの形成を目指すこととしています。

新たなエネルギーのまちを形成していくためには、より具体的なエネルギーのまちとしての10年後の将来イメージやその実現に向けた方向性を示す必要があるとともに、市民が豊かさを享受できるまちづくりを行うことが重要と考えています。

この度、脱炭素社会である「エネルギーのまち柏崎3.0」を将来像として示す「柏崎市地域エネルギービジョン」を策定いたしました。環境にやさしい持続可能な社会、将来世代にわたる豊かな生活を求めてのものであります。

将来像である「エネルギーのまち柏崎3.0」への途上として、まずは地域資源を最大限活用する低炭素社会に向けて、「再生可能エネルギーと原子力のまち」(2.5)を進めてまいります。

この「再生可能エネルギーと原子力のまち」(2.5)においては、再生可能エネルギーの有効活用と省エネルギー設備の導入を図るとともに、水素などの次世代エネルギーの導入・活用について研究を進め、他地域企業との連携を図りつつ、市内ものづくり産業が有する技術力を結集し、環境エネルギー関連産業の創出を図ってまいります。

また、原子力発電所との共存の基盤となる安全技術、将来の廃炉に対応できる産業の育成に取り組んでまいります。

結びに、本ビジョンの策定にあたり、貴重な御意見や御提案を頂きました柏崎市地域エネルギービジョン策定委員会の皆様を始め、多くの市民の皆様に心から感謝申し上げます。

目次

| | |
|---|-----------|
| はじめに 策定の目的と位置付け | 1 |
| 1 目的..... | 1 |
| 2 本ビジョンの位置付け..... | 1 |
| 第1章 地域エネルギービジョン策定の背景 | 2 |
| 1 国の動向..... | 2 |
| 2 県の動向..... | 5 |
| 第2章 本市の地域特性とエネルギー需給の状況 | 6 |
| 1 本市の地域特性..... | 6 |
| 2 本市のエネルギー需給の状況..... | 6 |
| 3 エネルギーに関する市民の意識..... | 8 |
| 第3章 再生可能エネルギー・次世代エネルギー可能性調査・分析 | 11 |
| 1 本市における再生可能エネルギー・次世代エネルギーの定義..... | 11 |
| 2 市内における再生可能エネルギー利用状況..... | 11 |
| 3 再生可能エネルギー・次世代エネルギーの導入可能性と普及に向けた課題..... | 13 |
| 第4章 地域エネルギービジョン方針 | 24 |
| 1 目指す将来像..... | 24 |
| 2 基本方針..... | 25 |
| (1) 基本方針1「環境エネルギー意識の向上」..... | 26 |
| (2) 基本方針2「スマートエネルギーによる暮らしやすいまちづくり」..... | 28 |
| (3) 基本方針3「環境エネルギー関連産業の確立」..... | 30 |
| (4) 基本方針4「地産地消エネルギーの活用推進」..... | 32 |
| 3 将来像の実現イメージと数値目標..... | 34 |
| 第5章 ビジョン実現に向けて | 39 |
| 1 ビジョン実現に向けた「柏崎らしさ」をいかしたプロジェクトイメージ..... | 39 |
| 2 地域エネルギー導入ロードマップ..... | 46 |

資料編

| | | |
|---|----------------------|-----|
| 1 | 国の動向 | 50 |
| 2 | 県の動向 | 63 |
| 3 | 本市の地域特性 | 70 |
| 4 | 本市のエネルギー需給の状況 | 77 |
| 5 | エネルギーに関する市民の意識 | 89 |
| 6 | 市内における再生可能エネルギー導入可能性 | 94 |
| 7 | 柏崎市地域エネルギービジョン策定概要 | 103 |
| 8 | 用語解説 | 107 |
| 9 | 単位換算表 | 115 |

始めに 策定の目的と位置付け

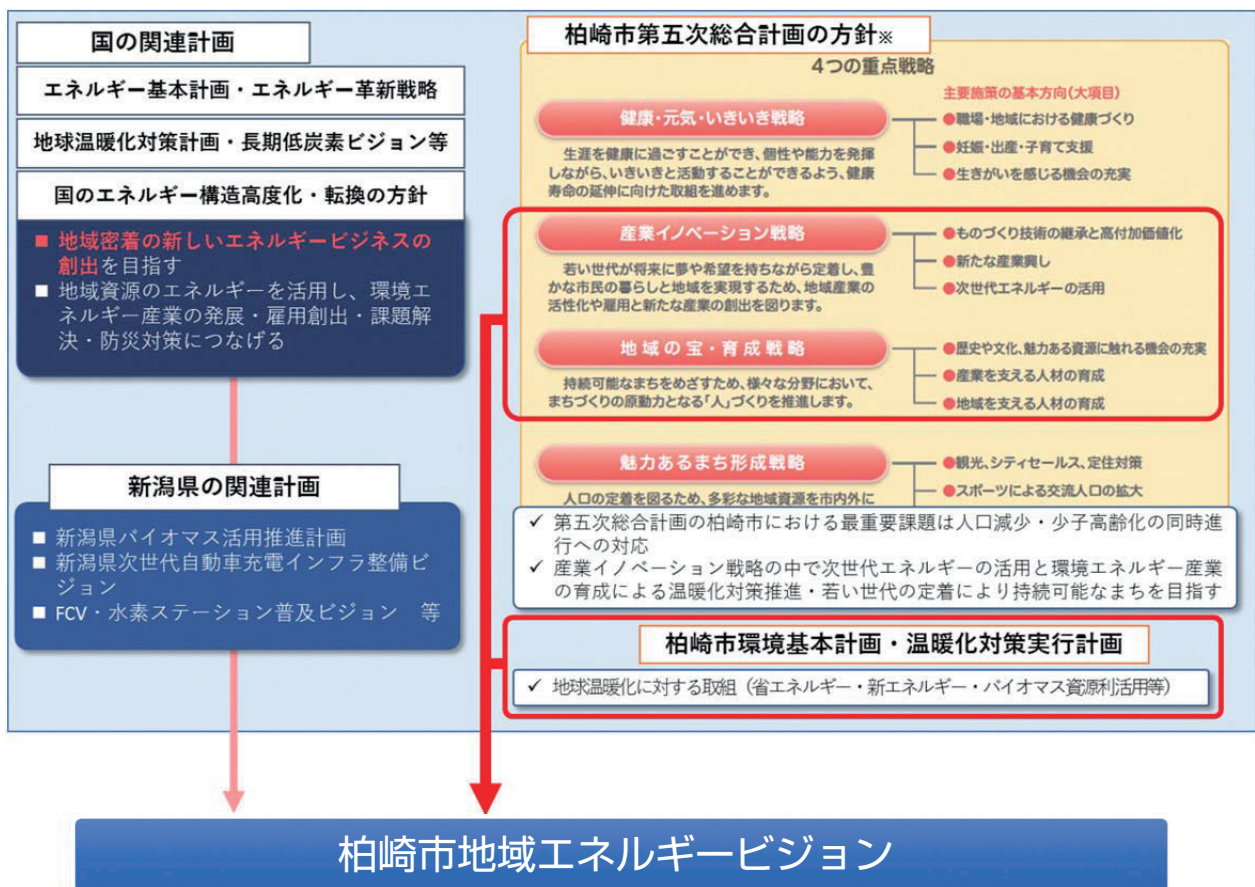
1 目的

柏崎市（以下「本市」という。）は、これまで石油産業のまち、原子力産業のまちとして歩んできた歴史を踏まえ、平成29年4月からスタートした「柏崎市第五次総合計画」の重点戦略の一つである「産業イノベーション戦略」の中で重点を置く主要施策の基本方向として「次世代エネルギーの活用による温暖化対策の推進」、「エネルギー・環境産業の創出」を据え、新たなエネルギーのまちの形成を目指すこととしている。

新たなエネルギーのまちを形成していくためには、総合計画での位置付けだけでなく、より具体的なエネルギーのまちとしてのビジョンが必要であるとともに、市民が豊かさを享受できるまちづくりを行うことが重要である。

そこで、総合計画と整合を図り、柏崎の10年後の将来イメージやその実現に向けた方向性を示す「柏崎市地域エネルギービジョン」（以下「本ビジョン」という。）を策定し、それを基に再生可能エネルギーや次世代エネルギーの活用、環境エネルギー関連産業の育成に努め、豊かで持続可能なまちを目指すこととする。

2 本ビジョンの位置付け



※柏崎市第五次総合計画（基本構想・前期基本計画）を基に作成